

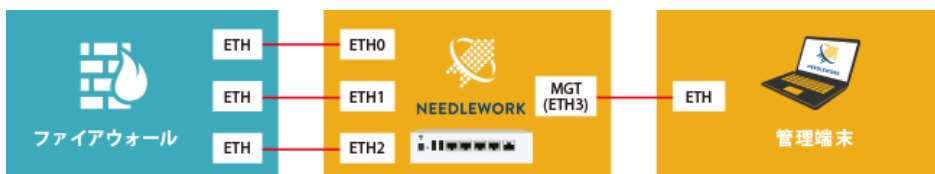
テスト環境の構築

ポリシーテストを行う際のテスト環境の構築手順について説明します。
NEEDLEWORKのIPを設定し、テスト対象のファイアウォールと接続します。

テスト構成について

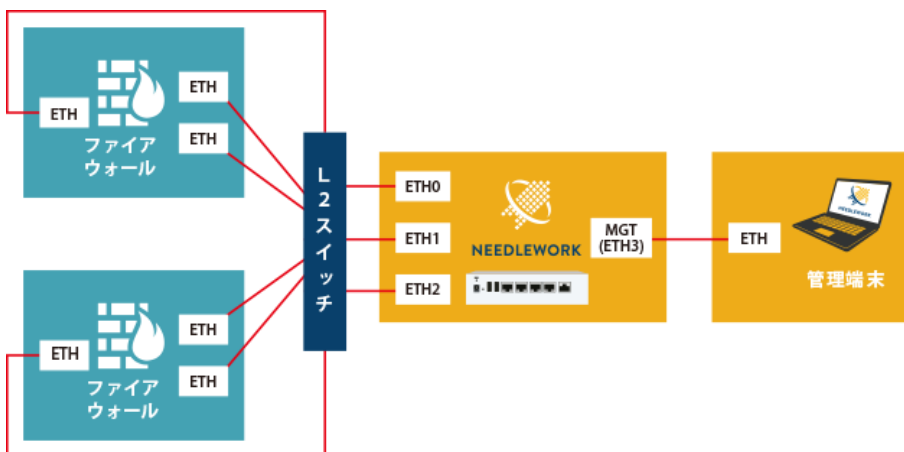
単体構成の場合

ポリシーテストは、以下の構成が基本となります。（最大3ポートまで使用できます。）



冗長構成の場合

テスト対象のファイアウォールが冗長構成の場合、機器本体とファイアウォールとの間にレイヤ2スイッチが必要です。



環境構築における注意点

- 機器本体のインターフェースはオートネゴシエーションに設定されています。また、固定設定には変更できません。
- 機器本体はダイナミックルーティングに対応していません。
- ファイアウォールのルーティング設定が不十分な場合、ポリシーテストが正常にできない可能性があります。ポリシーテストは双方向で行われるため、往路・復路どちらのルーティングも設定されている必要があります。

IPアドレスの設定

NEEDLEWORK機器本体のテスト用ポート（ETH0～ETH2）に、それぞれIPアドレスを設定します。
IPアドレスの設定は、管理コンソールを使用して以下の手順で行います。

※Tag VLANを利用する場合は、[Tag VLANを使用する場合](#)をご参照ください。

- ファイアウォールのルーティングで指定しているネクストホップのIPを設定します。

Settings

INFO

- Management IP address(192.0.2.1/24) is can not be changed.

Reload

ETH0

IP Address with Prefix Length

a.b.c.d/xx

Routed Tag Vlan Remove Apply

ETH1

IP Address with Prefix Length

a.b.c.d/xx

Routed Tag Vlan Remove Apply

ETH2

IP Address with Prefix Length

a.b.c.d/xx

Routed Tag Vlan Remove Apply

Management

IP Address with Prefix Length

192.0.2.1/24

Apply

- メニューのSettingsをクリックしてください。
- 各インターフェースの入力欄に設定したいIPアドレス(CIDR表記: a.b.c.d/xx)を入力し、Applyをクリックしてください。
- 設定が成功すると、緑色のチェックアイコンが表示されます。
- テストに使用するポートの分だけ上記の手順を繰り返し実行します。

- MGTポート（ETH3）のIPアドレスは192.0.2.1/24から変更できません。

Tag Vlanを使用する場合

NEEDLEWORK機器本体のテスト用ポート（ETH0～ETH2）にTag VLANを設定する場合は、以下の手順で行います。

- Vlanタグは全ポート合わせて4094個まで作成できます。

Tag Vlan Settings

Reload

ETH0

No	VLAN ID	IP Address with Prefix Length		
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply

+ - All Remove All Apply

ETH1

No	VLAN ID	IP Address with Prefix Length		
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply

+ - All Remove All Apply

ETH2

No	VLAN ID	IP Address with Prefix Length		
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply

+ - All Remove All Apply

- SettingsからVlanタグを設定したいポートのモードをTag Vlanに切り替えます。
- メニューのTag Vlan Settingsをクリックしてください。
- Vlan IDを1～4094の整数値で、IPアドレスをCIDR表記（a.b.c.d/xx）で入力し、Applyをクリックしてください。
- 設定が成功すると、緑色のチェックアイコンが表示されます。
- +ボタンをクリックすると、設定できるVlanを増やすことができます。必要なVlanタグの分だけ上記の手順を繰り返し実行します。

ETH0

IP Address with Prefix Length

Native Vlan

Routed Tag Vlan Remove Apply

ETH0

No	VLAN ID	IP Address with Prefix Length		
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply
2	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply
3	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply
4	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply
5	<input type="text"/>	<input type="text" value="a.b.c.d/xx"/>	Remove	Apply

+ - All Remove All Apply

- バージョン2.0.0以上でご利用になれます。(管理コンソール、機器本体バージョン)
- Tag Vlanモードを選択した場合、SettingsのインターフェースはNative Vlanとして扱われます。

- Routedモードを選択時はVlanタグの設定が行えません。また、Tag VlanからRoutedに切り替える際に、すでに設定されているVlanタグは削除されますので、ご注意ください。

機器本体とファイアウォールとの接続

テスト対象のファイアウォール(冗長構成の場合はレイヤ2スイッチ)とNEEDLEWORK機器本体のテスト用ポート(ETH0～ETH2)をLANケーブルで接続します。

- 機器本体に設定したIPアドレスと、ファイアウォールに設定されているIPアドレスが同じセグメントになるように接続して下さい。